

レンジフード Prism

TRNR - B90(120)DCL(R)

TRCR - B90(120)DCL(R)

レンジフード Prism 給気連動対応

TRNR - B90(120)DCJL(R)

TRCR - B90(120)DCJL(R)

取付・設置説明書

もくじ



・安全上のご注意	1～2
・取付・設置上のご注意	2～3
・取付・設置前の準備	4
・同梱品の確認	5
・別売部品	6
・トラスフレーム計算式	7
・排気ダクトの穴あけ位置	8
・製品の取付け	9～17
・製品寸法図	18～19
・取付・設置後の点検・清掃	裏表紙

安全上のご注意



必ずお守りください


取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

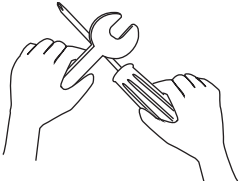
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

**警告**

仕様変更・改造は絶対にしないでください。




分解禁止




火災・感電・ケガの原因となります。

取付壁面が金属板張りの場合は、フード本体および、換気扇と金属板とを電氣的に接触させないように取付けてください。




漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造物に金属製ダクトを貫通させる場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電氣的に接触させないように取付けてください。




漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。




火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

D種接地工事を行ってください。

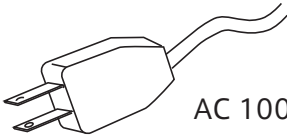


故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
アース線は工事側で手配してください。

交流100V以外で使用しないでください。



使用禁止



AC 100Vのみ

火災・感電の原因となります。

1

⚠ 注意

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行ってください。



誤った配線工事は、漏電、感電や火災の恐れがあります。

部品は確実に取付けてください。



取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

本体は十分強度のあるところにしっかり取付けてください。



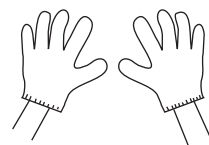
取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

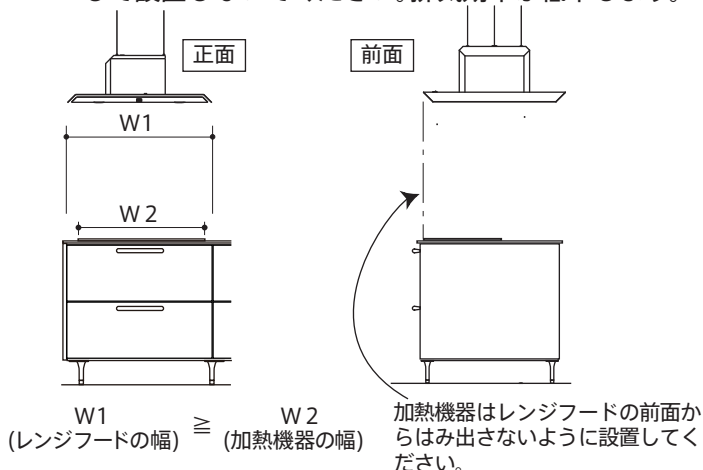
取付・設置上のご注意

1. 建築基準法（同施工令）および消防法等の関連法規に従って取付けてください。

2. 本体の壁への埋め込みは絶対におやめください。

3. 周囲温度が40℃以上になる場所には取付けないでください。
火災・感電の原因となります。

4. 加熱機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
加熱機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。



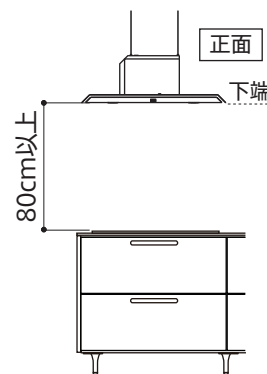
5. 屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400 m³/h時40 Pa以下のものを使用してください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

6. 指定サイズ（φ150）以外のダクトや非常に長いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

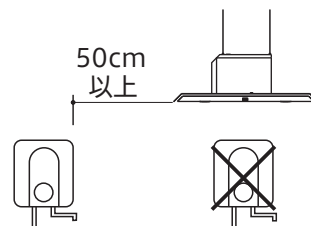
7. ダクトは室外側を若干下げて配管してください。

8. ダクトと排気口の隙間は、付属のソフトテープを使用して塞いでください。

9. レンジフードは加熱機器の真上に取付けてください。
なお、製品の取付高さは、整流板の下端が加熱機器の真上80 cm以上になるようにしてください。

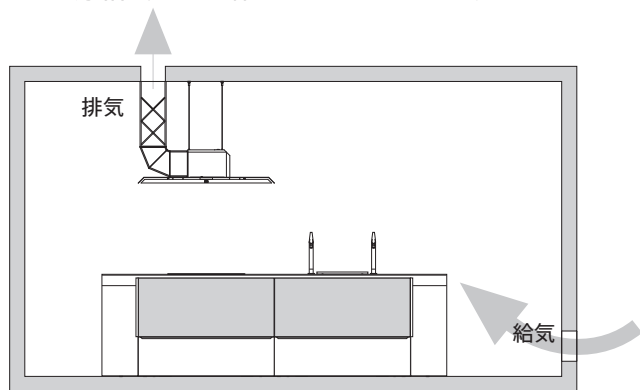


10. レンジフードの下には、絶対に湯沸器を取付けないでください。また、湯沸器を横に取付ける場合には、50 cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



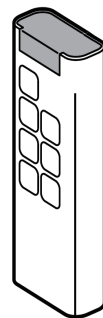
11. 部屋の中央で料理する場合は油煙が捕集しきれない場合がありますので、全体換気のために他の換気扇と併用すると、より優れた換気ができます。
また、突発的に発生した油煙は漏れる事があります。

- 1 2. 効率よく換気させるため、排気量に見合う大きさの給気口を設けてください。とくに自然排気型のストーブをご使用のときは、排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがありますので、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をしてください。



※排気用ダクトの大きさ以上の給気口を排気口と対称の壁に設けると有効です。

- 1 3. リモコンホルダーの取付けに関しては、本体に同梱されていますリモコンセットの取付説明書をお読みください。



リモコンスイッチ



リモコンホルダー

※リモコンセット

リモコンスイッチ：1個

リモコンホルダー：1個

レンジフードを運転するのに使います。

取付・設置前の準備

1. 取付栈の確認

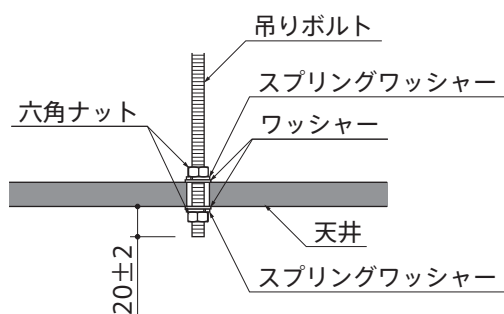
- ・トラスフレームまたはエルボの取付位置に取付枠があるかを確認してください。

2. 吊りボルトの取付け

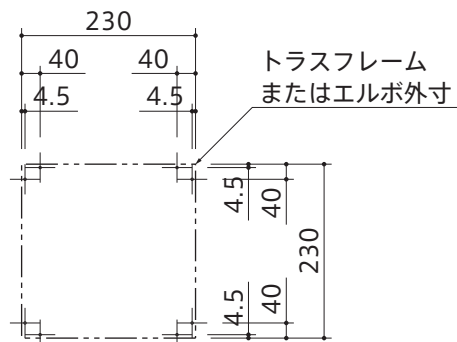
- ・フード本体のワイヤー金具の位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。
- ※吊りボルトはM10を用いてください。
- ※吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

■製品質量

- ☐ フード本体
 間口900タイプ — 約23kg
 間口1200タイプ — 約27kg
☐ トラスフレーム、エルボ、フード本体用
 エルボの重量は別売部品を参照ください。

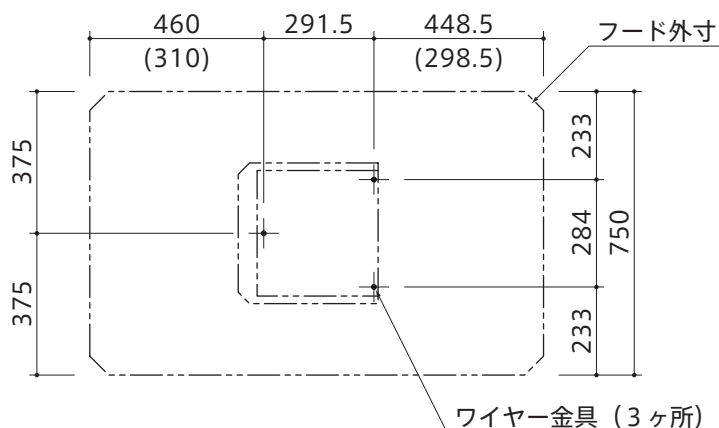


■トラスフレーム、エルボ取付位置（天井または壁）



■吊りボルト取付位置（平面図）

- ※イラストはLタイプの場合を示し、Rタイプは対称とする。
- ※（ ）内寸法は、間口900タイプの場合を示す。



3. 天井高さの確認

- ・製品下面から天井まで、450mm～1700mmの範囲で取付可能です。
(詳細については、「排気ダクトの穴あけ位置」を参照ください。)

4. 別売部品の準備

- ・排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。（別売部品は別ページを参照ください。）

5. 排気ダクトの取り出し

- ・φ150の排気ダクトを、指定位置（「排気ダクトの穴あけ位置」参照）に取り出してください。

6. 電源コンセント

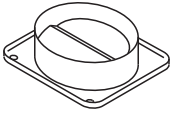
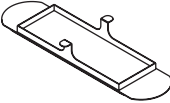


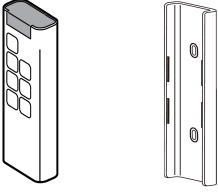
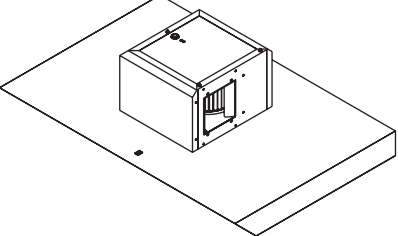
- ・電源コンセントは専用のものを設置してください。（交流 単相100V）
- ・「アースターミナル付」アース線は、工事側で手配してください。

7. 給気シャッター [給気連動対応の場合のみ]

- ・給気シャッター（AC100V 出力50Wまで）

同梱品の確認

下記の部品が同梱されています。取付けを始める前に不足していないか確認してください。

部品名	形 状	数量	備 考
排気シャッター (ソフトテープ付属)		1 個	
オイルトレイ		1 個	
ワイヤー [ボール付き] (φ 1.5mm×1.5m)		3 本	
ワイヤー吊りナット		3 個	
リモコンセット		1 セット	リモコンスイッチ：1 個 リモコンホルダー：1 個
本体		1 台	

排気方法に応じて、別途トラスフレームなどを手配してください。

建築側で別途手配してください。

・吊りボルト (M10) 3 本 ・六角ナット 6 個 ・ワッシャー 6 個 ・スプリングワッシャー 6 個

別売部品

換気フード

屋外壁面の排気出口に取付けるベントキャップまたはパイプフード。通気抵抗は400m³/h時40Pa以下のものを使用してください。



丸形フード (FUJIOH製品)
VC-15H ※メーカー品番
VC-15DH ※メーカー品番

芯ずれ補正ダクト

フード本体の排気位置を30mm以内でずらして補正する事が出来ます。



TR-TJD15

ジャバラダクト

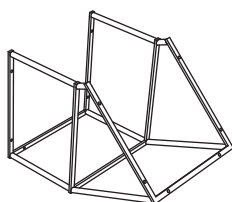
直接排気の間ダクト



FJ-15
TR-AD

フード本体用45°エルボ

TR-TF45IQ TR-TF45IQCR

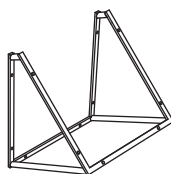


□質量：0.96kg

フード本体とトラスフレーム固定用

45°エルボ

TR-TF45Q
TR-TF45QCR

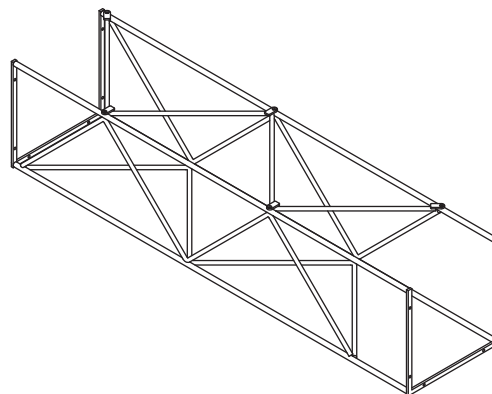


□質量：0.52kg

トラスフレームと
天井または壁固定用

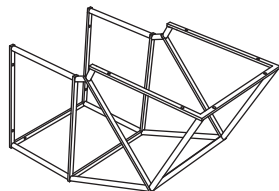
トラスフレーム

TR-TF50Z TR-TF50CRZ
TR-TF100Z TR-TF100CRZ
TR-TF150Z TR-TF150CRZ
TR-TF200Z TR-TF200CRZ
TR-TF250Z
TR-TF300Z



フード本体用90°エルボ

TR-TF90IQ TR-TF90IQCR

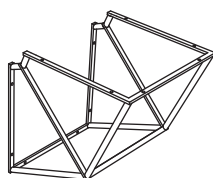


□質量：1.36kg

フード本体とトラスフレーム固定用

90°エルボ

TR-TF90Q
TR-TF90QCR



□質量：0.92kg

トラスフレームと
天井または壁固定用

□質量：3.75kg/m

トラスフレーム計算式

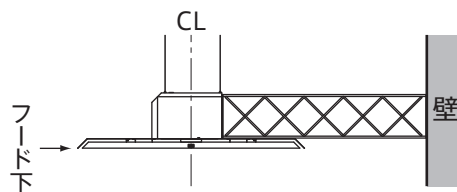
※トラスフレームは、 $L=50\sim500\text{mm}$ 、以後ブラックの場合は 3000mm まで、クロームの場合は 2000mm まで 500mm ピッチでフリーサイズ対応となります。

■ 0° 壁抜きの場合

- ・使用部材：トラスフレーム
- ・トラスフレーム計算式（※小数点以下四捨五入）
フード中心から壁までの距離－ 162.5

・取付可能範囲

フード下から天井までの距離	・・・	$450\text{mm}\leq 1700\text{mm}$
フード中心から壁までの距離	・・・	
ブラック 間口 900 の場合		$450\text{mm}\leq 3162.5\text{mm}$
間口 1200 の場合		$600\text{mm}\leq 3162.5\text{mm}$
クローム 間口 900 の場合		$450\text{mm}\leq 2162.5\text{mm}$
間口 1200 の場合		$600\text{mm}\leq 2162.5\text{mm}$

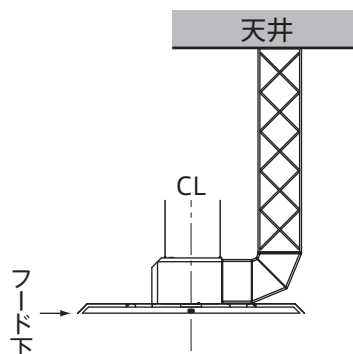


■ 90° 天井抜きの場合

- ・使用部材：フード本体用90°エルボ、トラスフレーム
- ・トラスフレーム計算式（※小数点以下四捨五入）
フード下から天井までの距離－ 318.4

・取付可能範囲

フード下から天井までの距離	・・・	$450\text{mm}\leq 1700\text{mm}$
フード中心から壁までの距離	・・・	
間口 900 の場合	ダクト側	584mm 以上
	反対側	450mm 以上
間口 1200 の場合	両側	600mm 以上

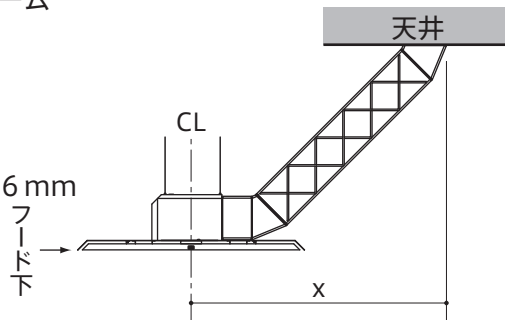


■ 45° 天井抜きの場合

- ・使用部材：フード本体用45°エルボ、45°エルボ、トラスフレーム
- ・トラスフレーム計算式（※小数点以下四捨五入）
(フード下から天井までの距離 $\times 1.414$)－ 450.3

・取付可能範囲

フード下から天井までの距離	・・・	$450\text{mm}\leq 1700\text{mm}$
フード中心から壁までの距離	・・・	$715.6\text{mm}\leq 1965.6\text{mm}$
天井に対してフード中心から壁までの最低距離計算式 (x)		
フード下から天井までの距離	＋	265.6

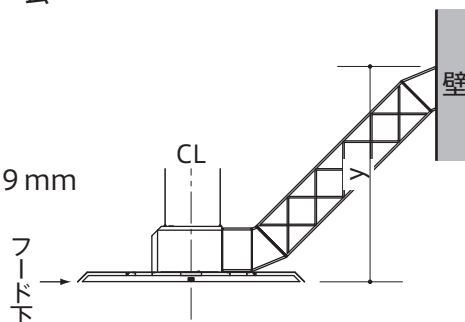


■ 45° 壁抜きの場合

- ・使用部材：フード本体用45°エルボ、45°エルボ、トラスフレーム
- ・トラスフレーム計算式（※小数点以下四捨五入）
(フード中心から壁までの距離 $\times 1.414$)－ 750.9

・取付可能範囲

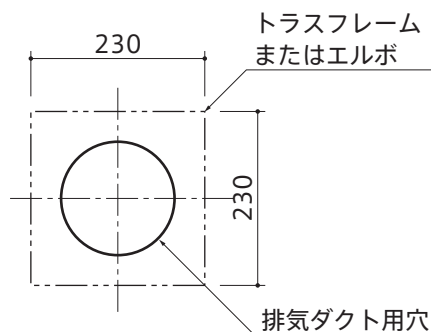
フード下から天井までの距離	・・・	$450\text{mm}\leq 1700\text{mm}$
フード中心から壁までの距離	・・・	$609.9\text{mm}\leq 1859.9\text{mm}$
壁に対してフード下から天井までの最低距離計算式 (y)		
フード中心から壁までの距離	－	159.9



排気ダクトの穴あけ位置

- (1) 天井および壁の指定位置に排気ダクト用穴を開けてください。
- (2) 穴部周辺を補強枠で補強してください。

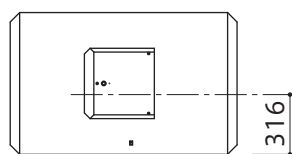
□排気ダクト用穴あけ



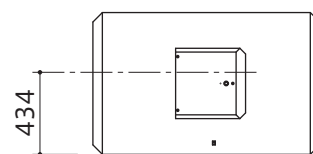
□排気ダクト位置（奥行方向）

■ Lタイプ（平面図）

■ Rタイプ（平面図）



前面

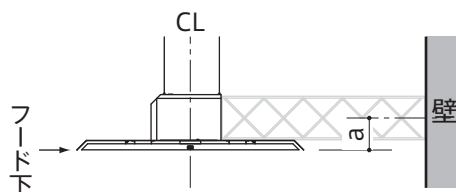


前面

□排気ダクト位置（間口方向、高さ方向）

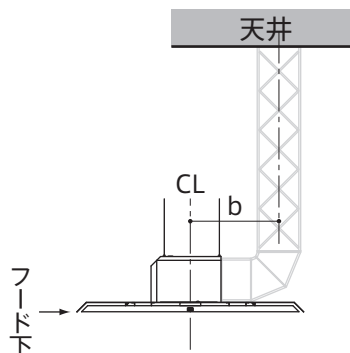
■ 0° 壁抜きの場合

- ・フード下からダクト中心までの距離（a）＝168.4mm



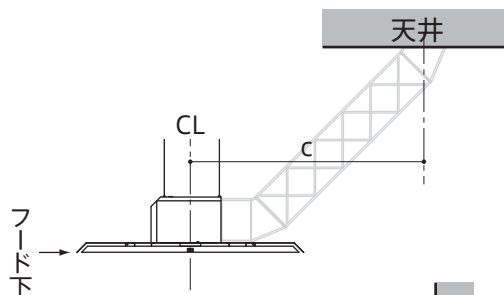
■ 90° 天井抜きの場合

- ・フード中心からダクト中心までの距離（b）＝469mm



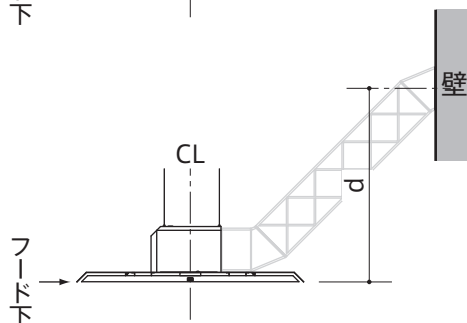
■ 45° 天井抜きの場合

- ・フード中心からダクト中心までの距離（c）＝
フード下から天井までの距離＋150.6mm



■ 45° 壁抜きの場合

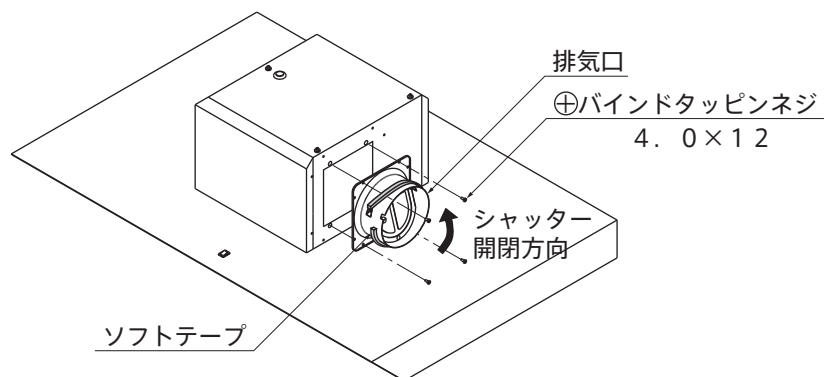
- ・フード下からダクト中心までの距離（d）＝
フード中心から壁までの距離－274.9mm



製品の取付け

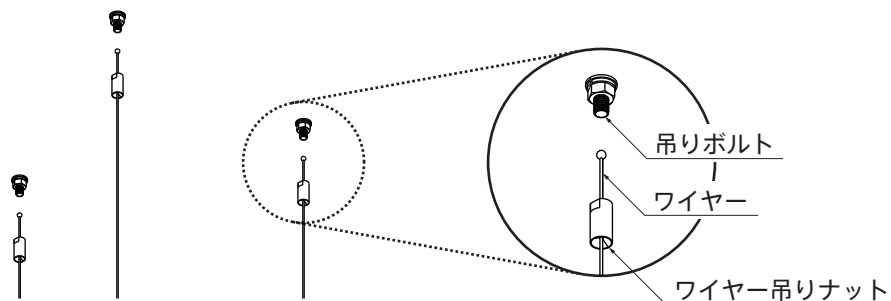
1 排気用部品の準備

- ・シロッコファンを固定している⊕バインドタッピンネジ4. 0×12（4ヶ所）を外します。
 - ・排気口に付属のソフトテープを貼ります。
 - ・さきほど外した⊕バインドタッピンネジ4. 0×12にて、排気シャッターを取付けます。
- ※排気シャッターに付属の説明書に従い、シャッターの開閉方向に注意して取付けてください。



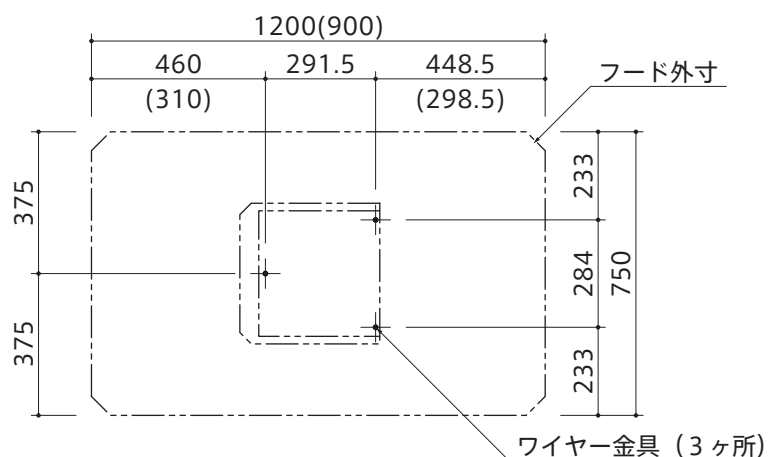
2 ワイヤー吊りナットの取付け

- ・ワイヤー吊りナットにワイヤーを通した後、天井より垂れている吊りボルトにねじ込んで固定します。（3ヶ所）
- ※ワイヤー吊りナットにゆりみがないか確認してください。
- ※ワイヤーは製品の取付け高さに合わせて、必要な長さにカットします。（「ワイヤーカット位置」参照）
- ワイヤーは専用のワイヤーカッターを使用してカットしてください。
- ニッパー等でカットすると、ワイヤーの先端が開いてワイヤー金具に通らない恐れがあります。

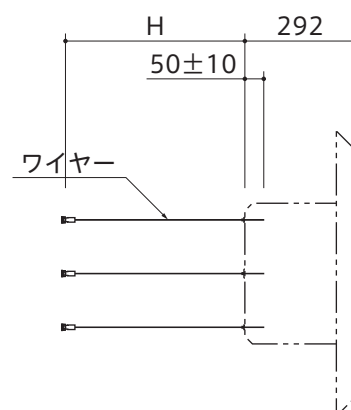


■ワイヤー吊りナット取付位置（平面図）

- ※イラストはLタイプの場合を示し、Rタイプは対称とする。
- ※（ ）内寸法は、間口900タイプの場合を示す。

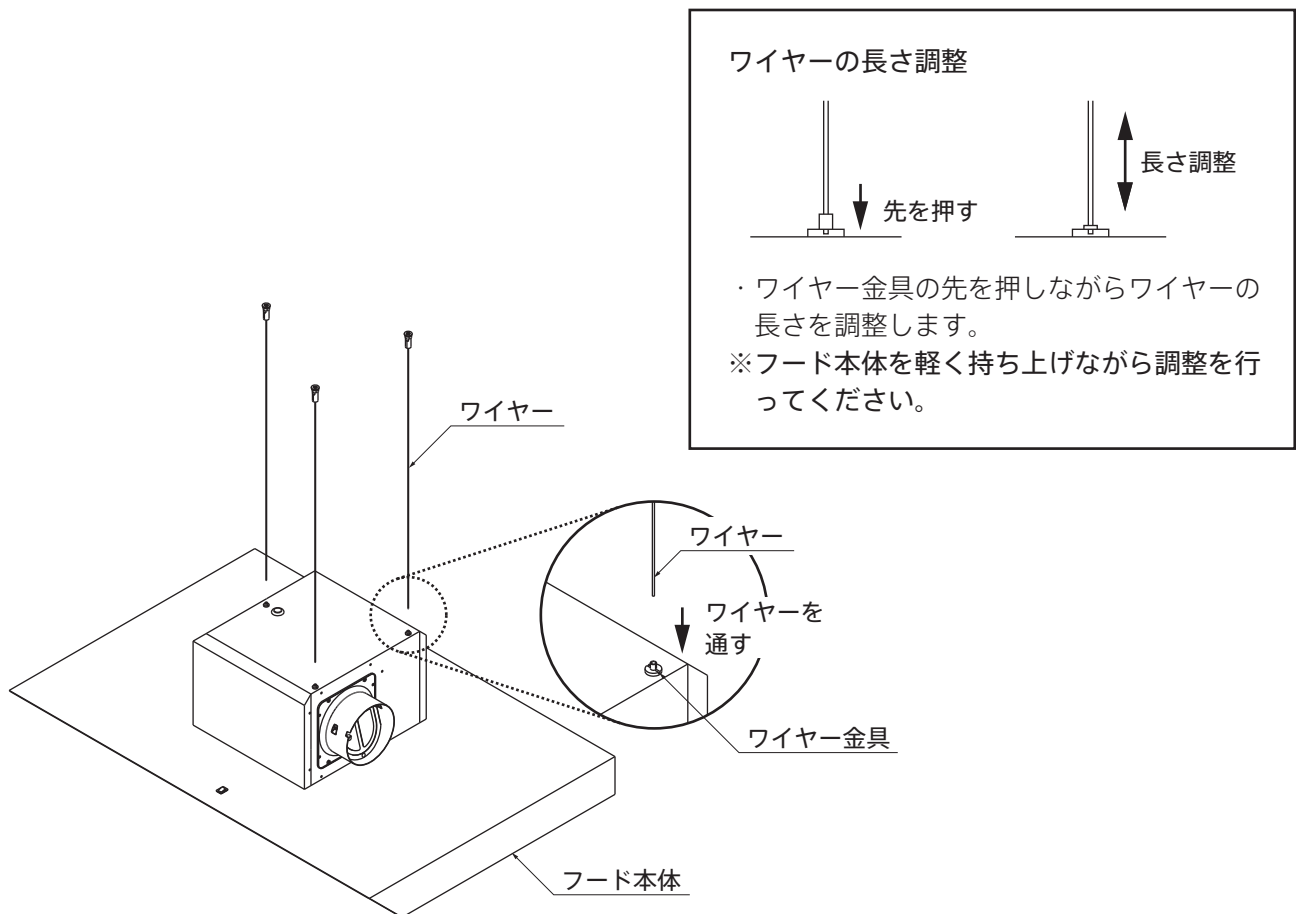


■ワイヤーカット位置（側面図）



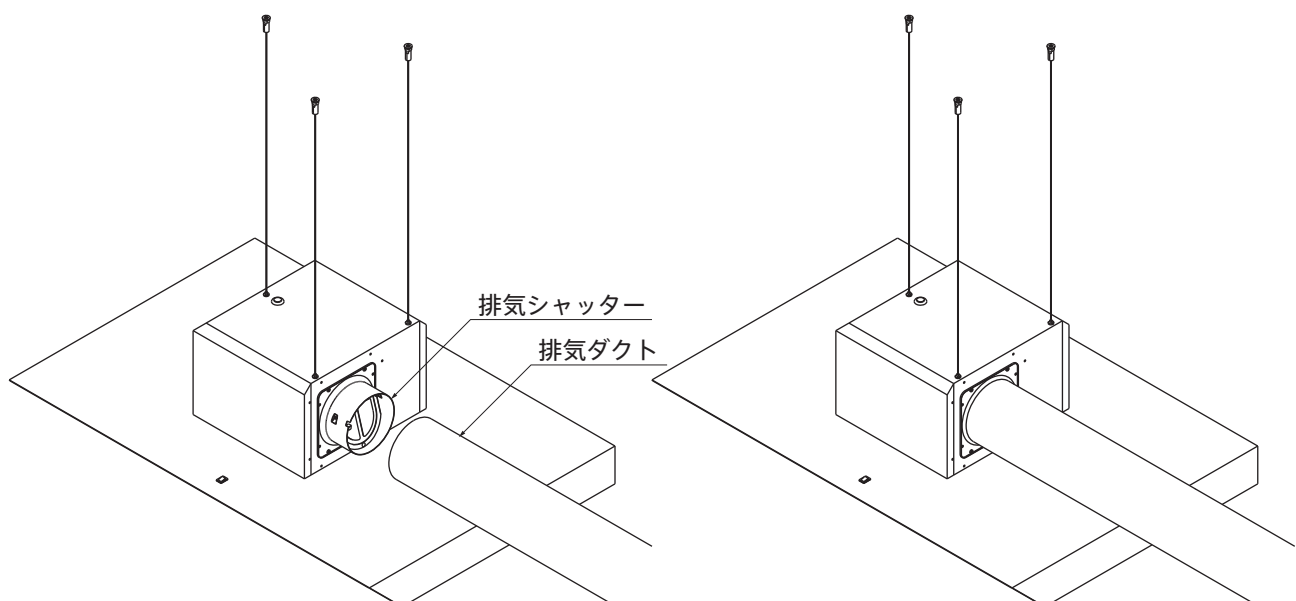
3 フード本体の取付け、レベル調整

- ・フード本体上面に取付いているワイヤー金具に天井から垂れているワイヤーを通して、フード本体を吊ります。
- ・ワイヤーの長さを調整し、フード本体のレベルを調整します。



4 排気ダクトの接続

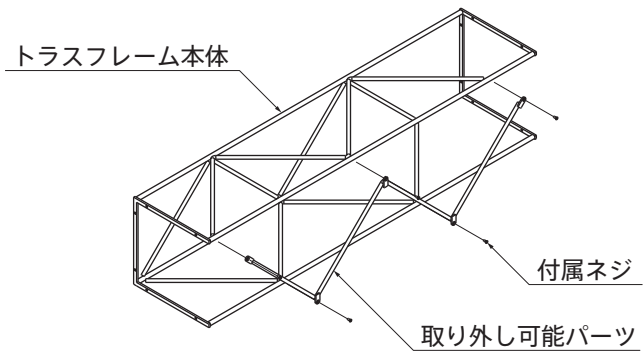
- ・排気シャッターと排気ダクトを接続し、風漏れ防止処理を行います。



5 トラスフレームの取付け

取り外し可能パーツの取り外し

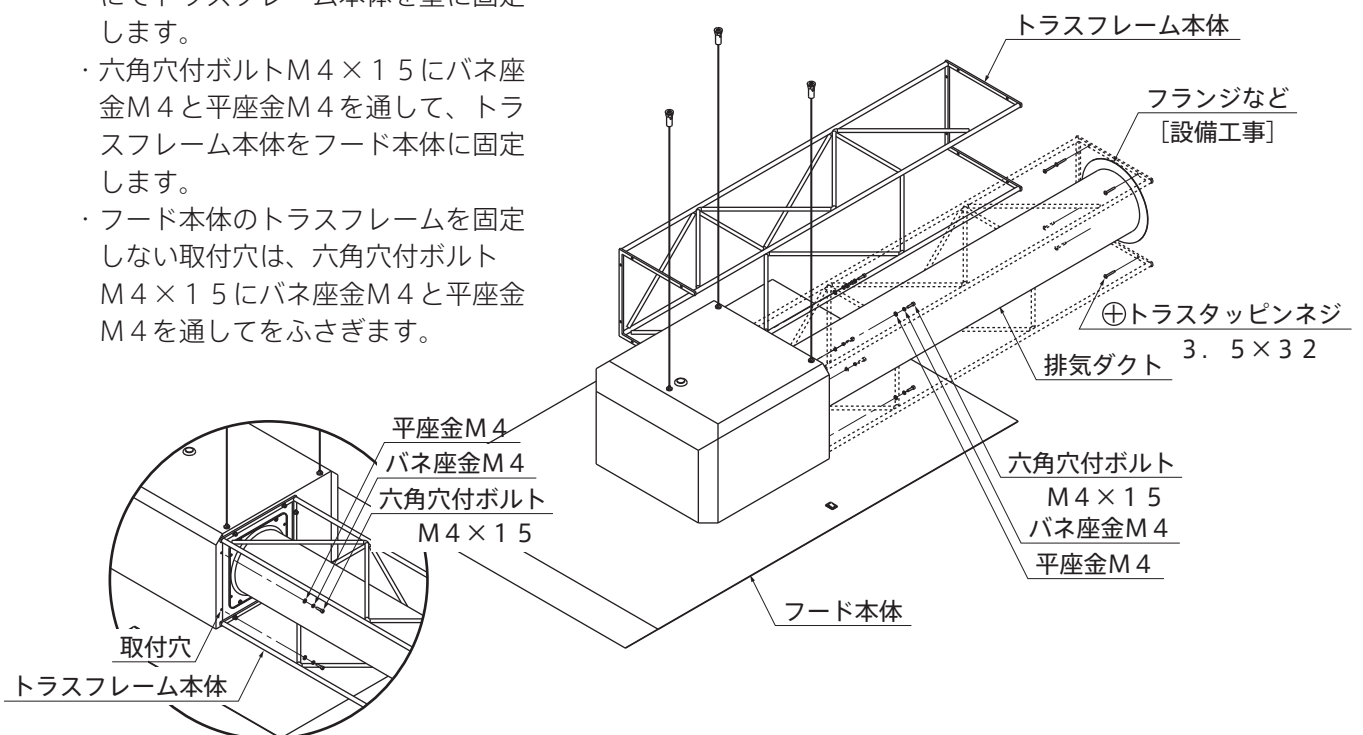
- ・ 付属ネジを外して、トラスフレーム本体から取り外し可能パーツを取り外します。



■ 0° 壁抜きの場合

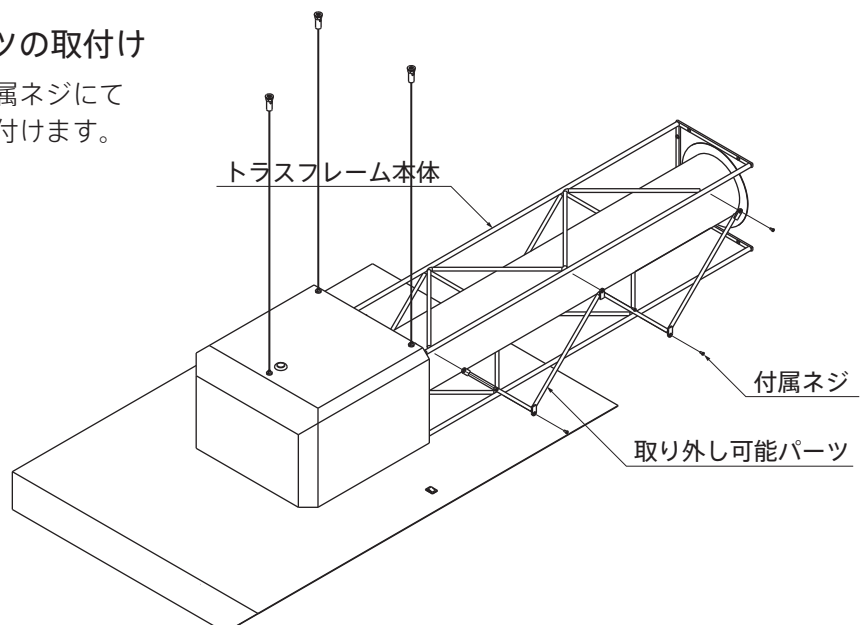
(1) トラスフレーム本体の取付け

- ・ トラスフレーム本体を排気ダクトにかぶせます。
- ・ ⊕トラスタッピンネジ 3. 5×3 2 にてトラスフレーム本体を壁に固定します。
- ・ 六角穴付ボルト M4×1 5 にバネ座金 M4 と平座金 M4 を通して、トラスフレーム本体をフード本体に固定します。
- ・ フード本体のトラスフレームを固定しない取付穴は、六角穴付ボルト M4×1 5 にバネ座金 M4 と平座金 M4 を通してをふさぎます。



(2) 取り外し可能パーツの取付け

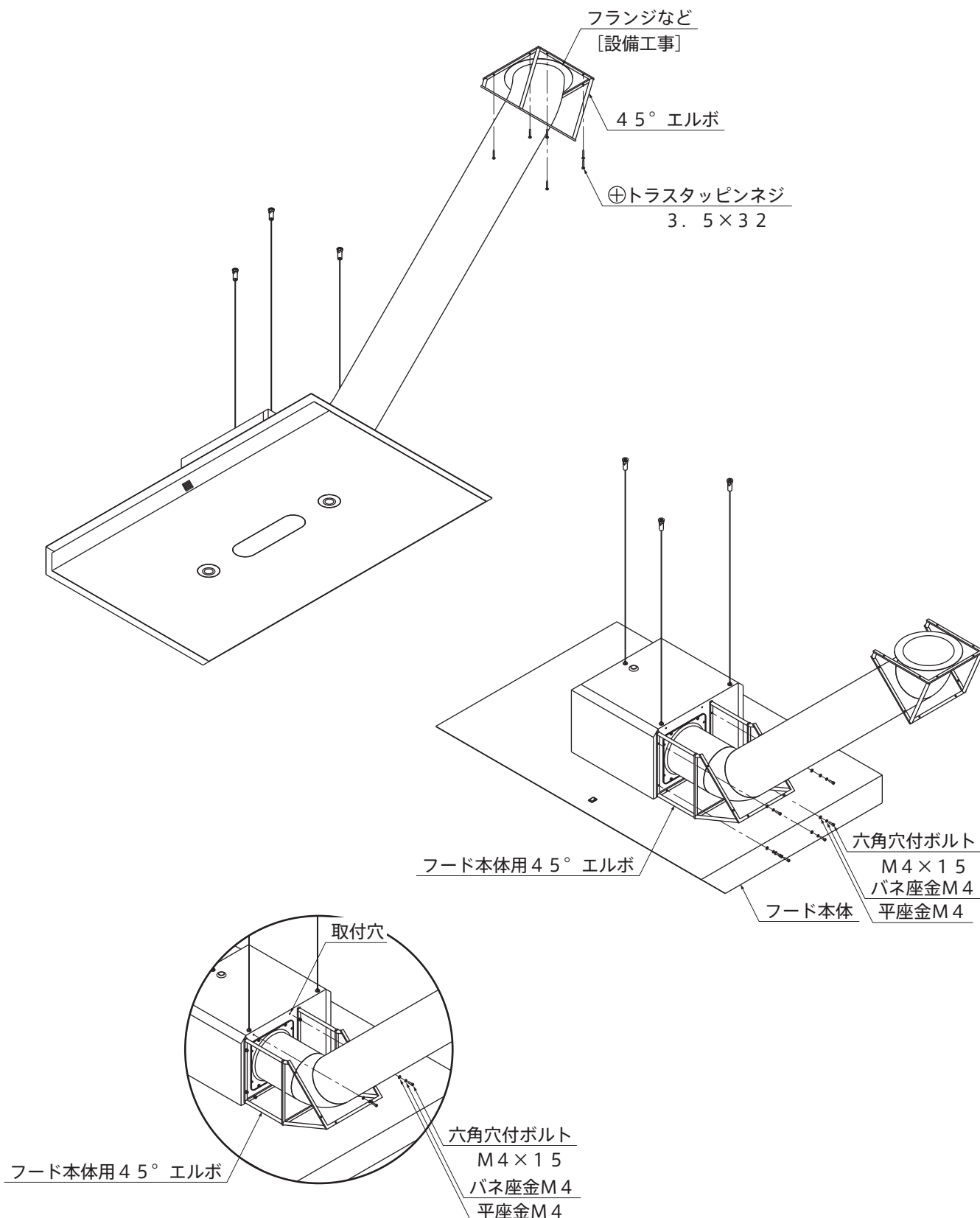
- ・ 取り外し可能パーツを付属ネジにてトラスフレーム本体に取付けます。



■ 45° 天井抜きの場合

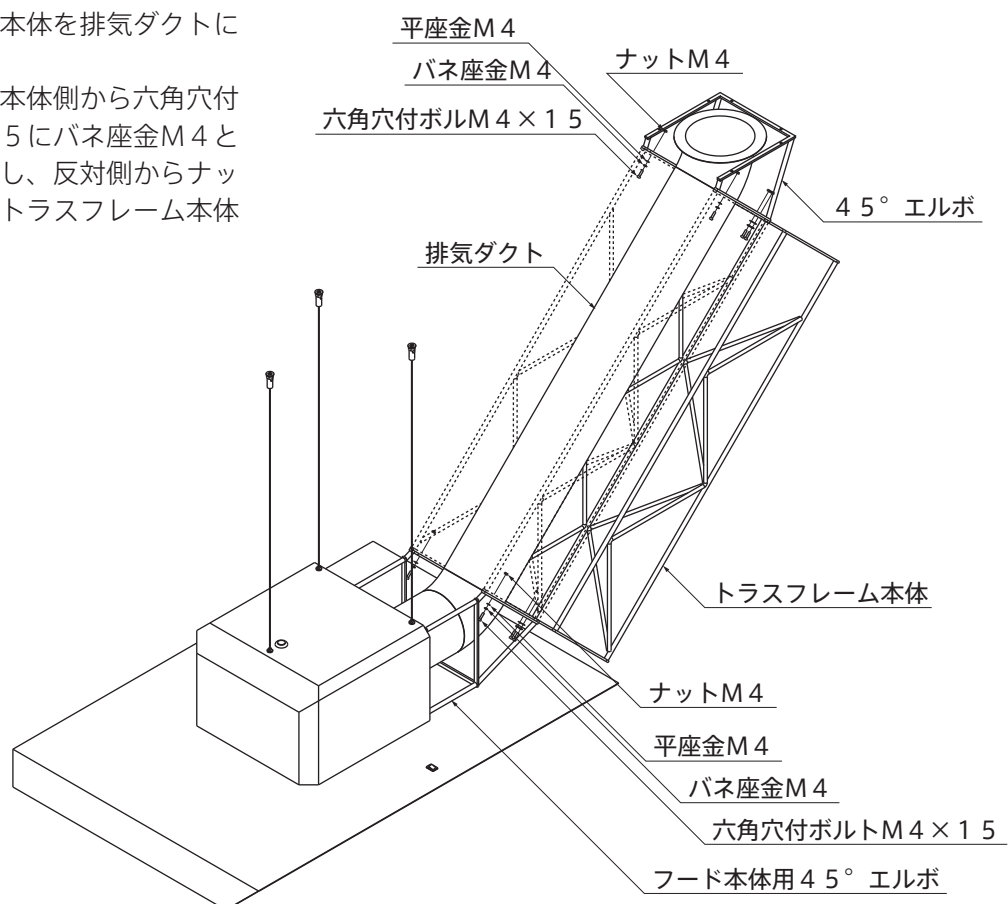
(1) エルボ、フード本体用エルボの取付け

- ・ 45° エルボを⊕トラスタッピンネジ 3.5×3.2にて天井に取付けます。
- ・ 六角穴付ボルトM4×15にバネ座金M4と平座金M4を通して、フード本体用45° エルボをフード本体に取付けます。
- ・ フード本体のフード本体用45° エルボを固定しない取付穴は、六角穴付ボルトM4×15にバネ座金M4と平座金M4を通してふさぎます。



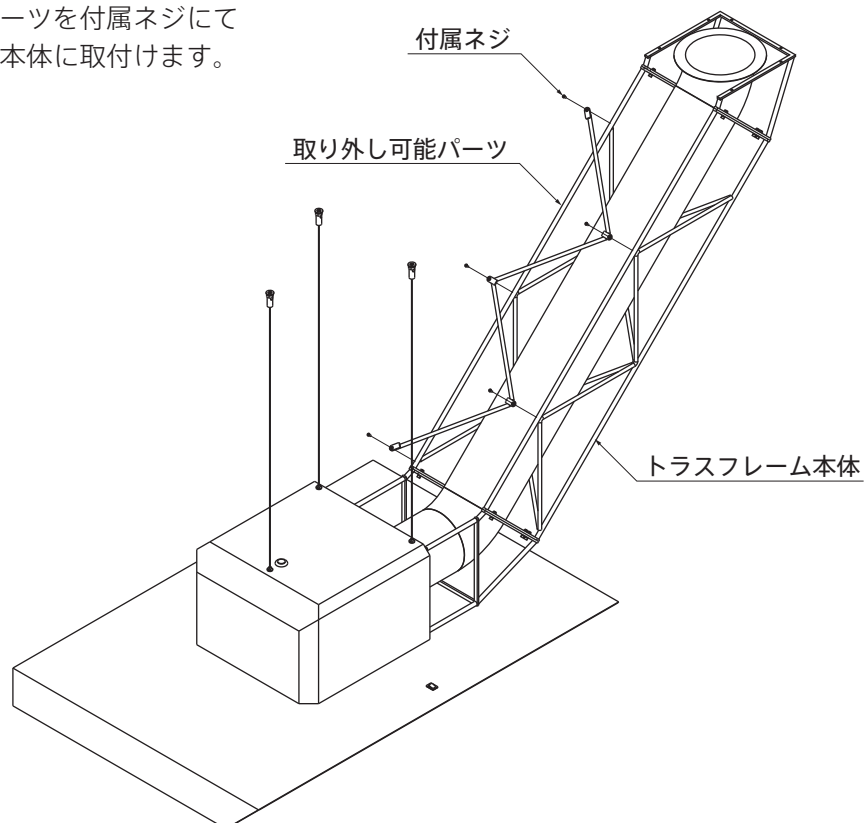
(2) トラスフレーム本体の取付け

- ・トラスフレーム本体を排気ダクトにかぶせます。
- ・トラスフレーム本体側から六角穴付ボルトM4×15にバネ座金M4と平座金M4を通し、反対側からナットM4を締めてトラスフレーム本体を固定します。



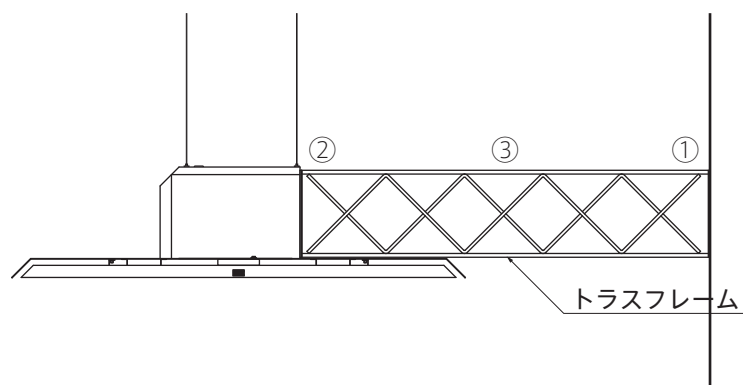
(3) 取り外し可能パーツの取付け

- ・取り外し可能パーツを付属ネジにてトラスフレーム本体に取付けます。



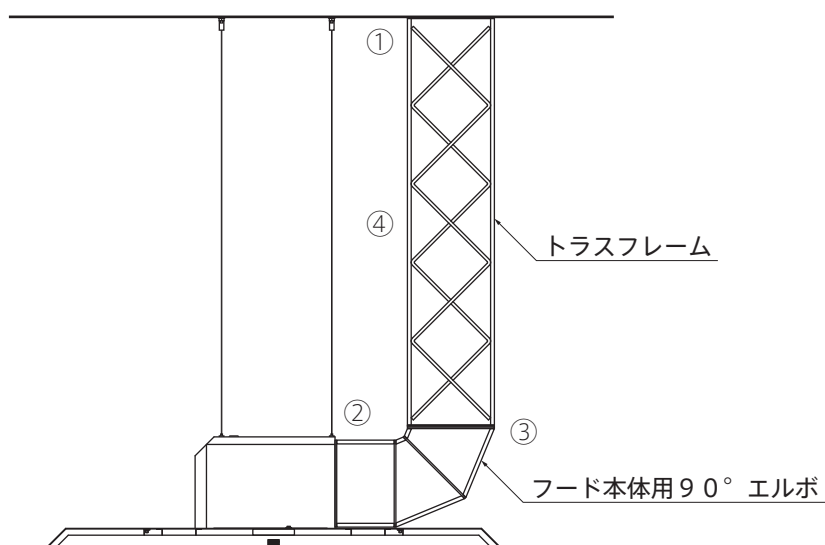
■ 0° 壁抜きの場合

- ①トラスフレーム本体を壁に固定
- ②トラスフレーム本体をフード本体に固定
- ③取り外し可能パーツをトラスフレーム本体に取付け



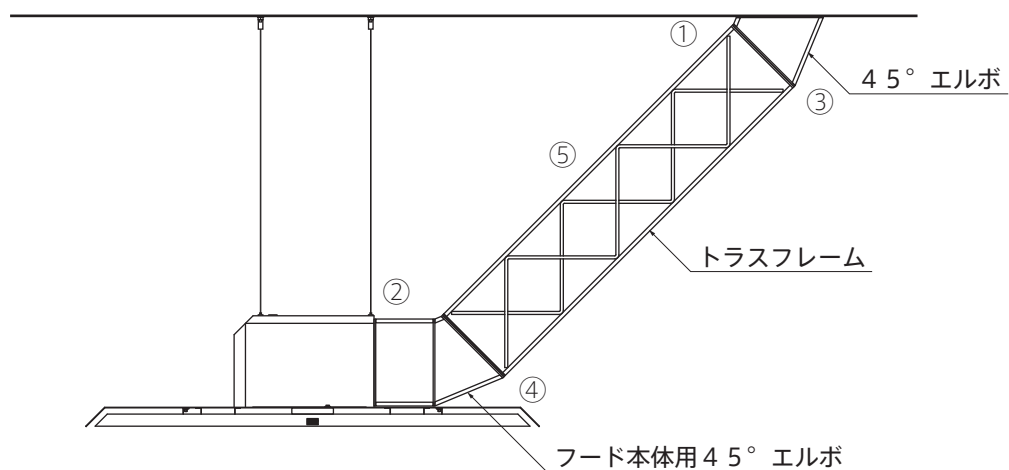
■ 90° 天井抜きの場合

- ①トラスフレーム本体を天井に固定
- ②フード本体用90°エルボをフード本体に固定
- ③フード本体用90°エルボとトラスフレーム本体を連結
- ④取り外し可能パーツをトラスフレーム本体に取付け



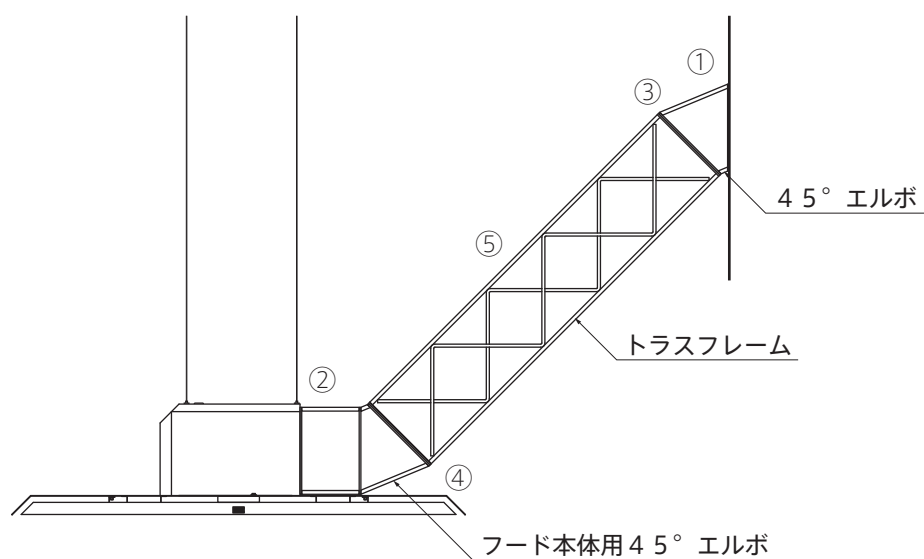
■ 45° 天井抜きの場合

- ① 45° エルボを天井に固定
- ② フード本体用 45° エルボをフード本体に固定
- ③ 45° エルボとトラスフレーム本体を連結
- ④ フード本体用 45° エルボとトラスフレーム本体を連結
- ⑤ 取り外し可能パーツをトラスフレーム本体に取付け



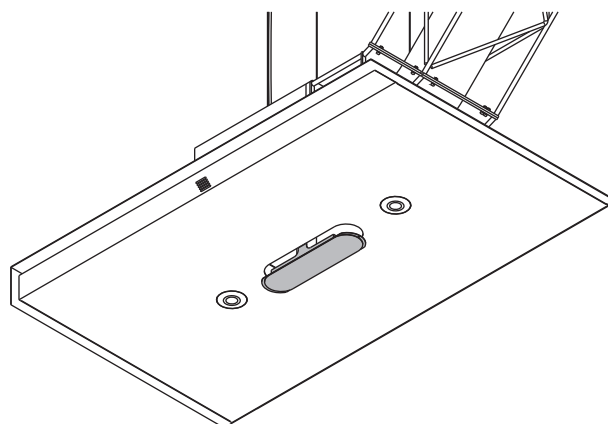
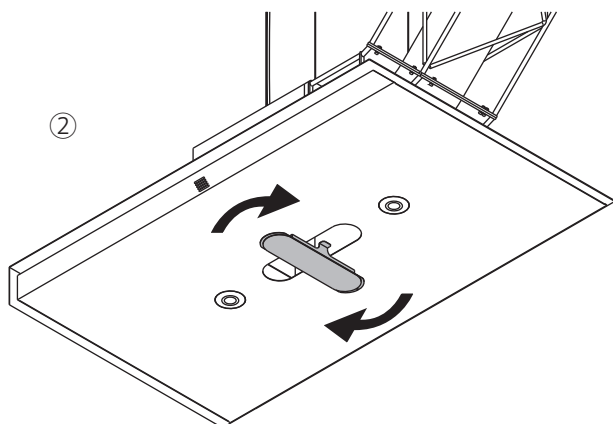
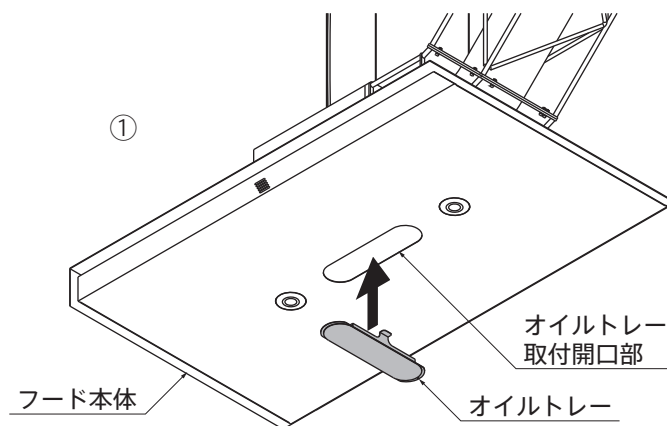
■ 45° 壁抜きの場合

- ① 45° エルボを壁に固定
- ② フード本体用 45° エルボをフード本体に固定
- ③ 45° エルボとトラスフレーム本体を連結
- ④ フード本体用 45° エルボとトラスフレーム本体を連結
- ⑤ 取り外し可能パーツをトラスフレーム本体に取付け



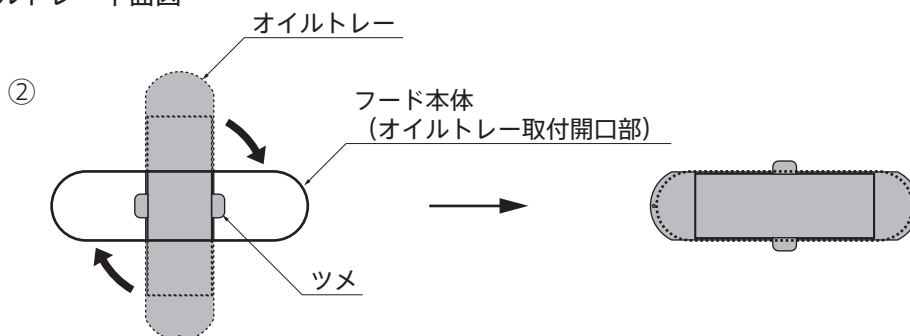
6 オイルトレの取付け

- ・フード本体下側よりオイルトレ取付開口部に対して90°の向きで、オイルトレのツメを差し込みます。(①)
- ・オイルトレを90°回転させて、ツメをフード本体に引っ掛けます。(②)
- ・オイルトレの片側を左右どちらかへ押し込み、反対側へずらして落とし込みます。(③④⑤)

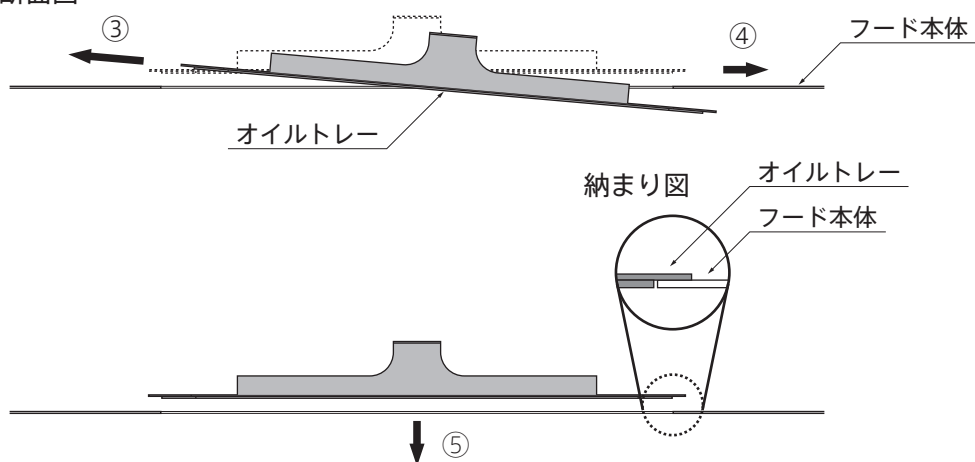


※ファンのツマミの締め直し、ファンの取付け直し、ベルマウスの取付け直しは、オイルトレを外してオイルトレ取付開口部より行ってください。

■オイルトレ平面図



■オイルトレ断面図

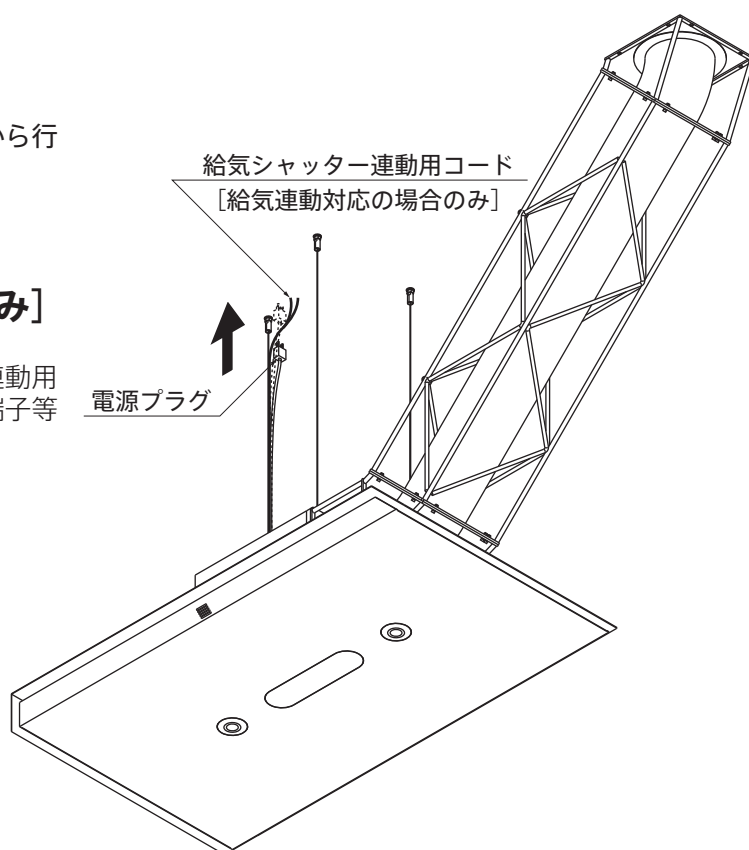


7 電源プラグの差し込み

- ・電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ※必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ※アース（D種接地工事）を取付けます。

※ 結線 [給気連動対応の場合のみ]

- ・フード本体から出ている給気シャッター連動用コードと給気シャッターのコードを速決端子等で結線します。

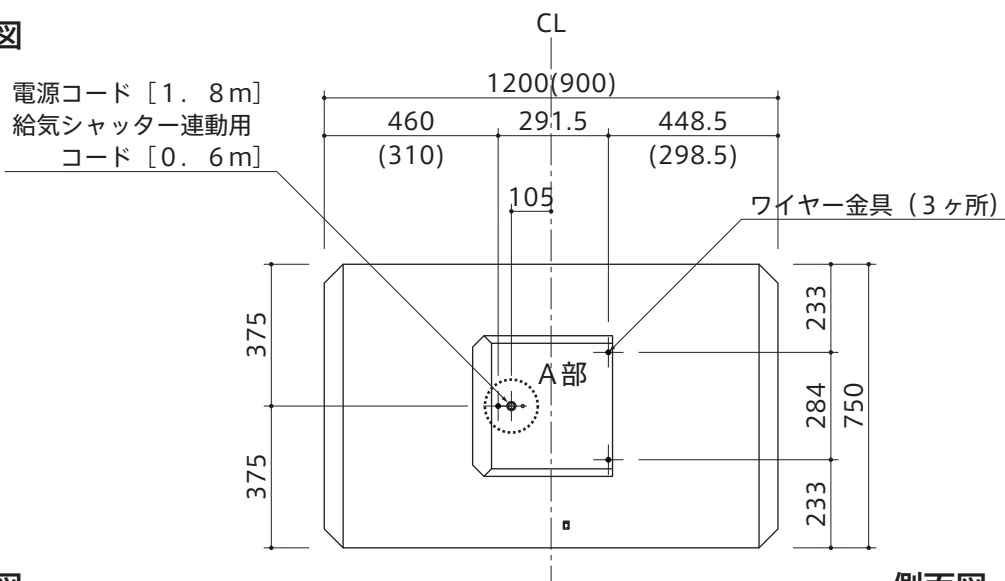


製品寸法図 1 (Lタイプ)

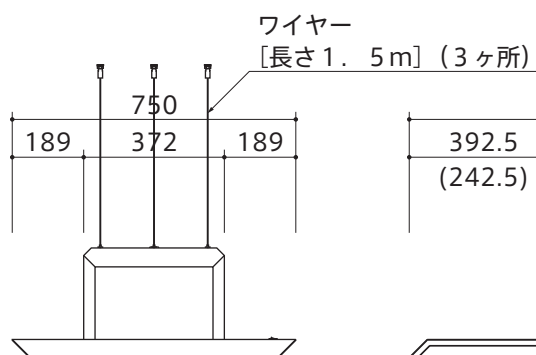
※ () 内寸法は、間口900タイプの場合を示す。

※給気シャッター連動用コードは、TR*R-B***DCJLの場合のみ。

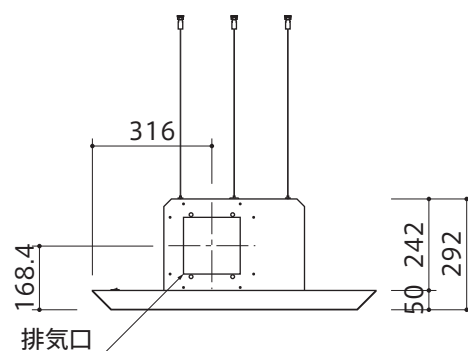
平面図



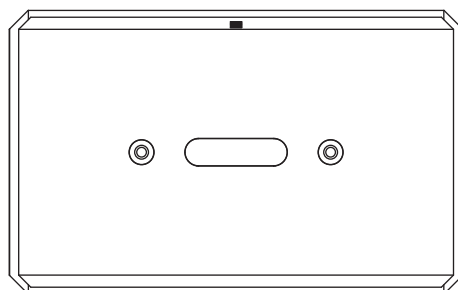
正面図



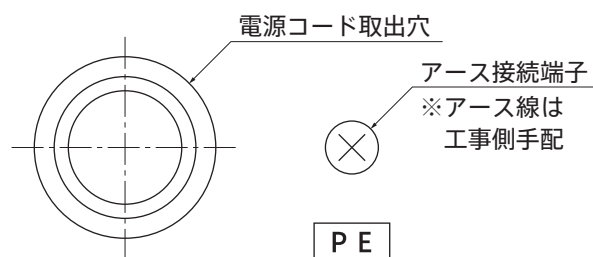
側面図



下面図



A部詳細図 [フード本体天板]

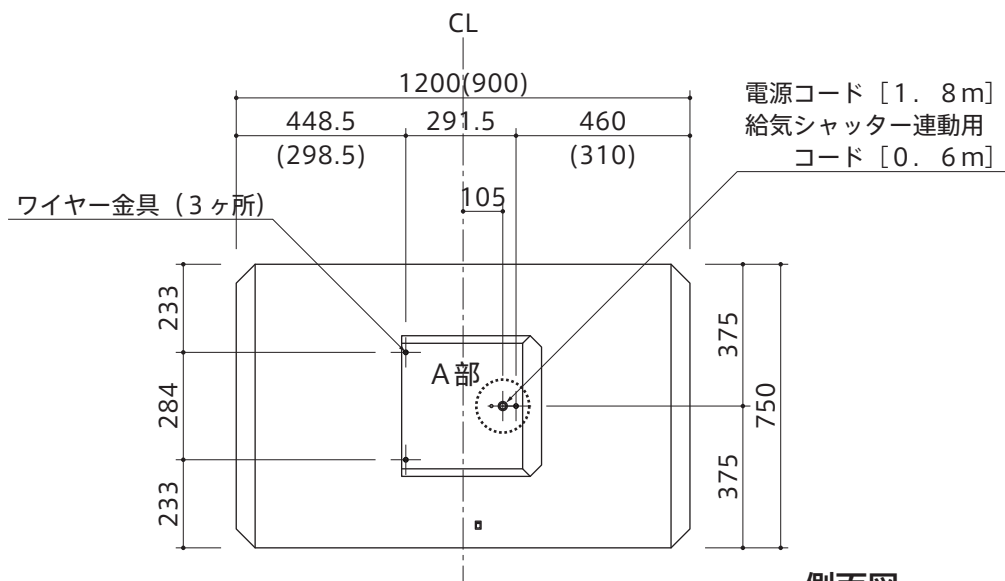


製品寸法図 2 (Rタイプ)

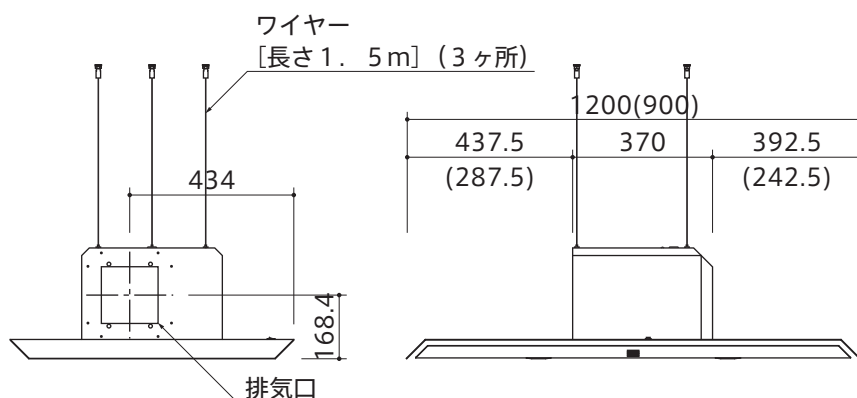
※ () 内寸法は、間口900タイプの場合を示す。

※給気シャッター連動用コードは、TR*R-B***DCJRの場合のみ。

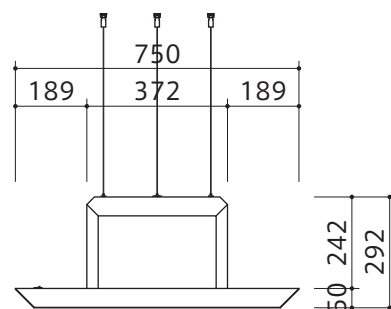
平面図



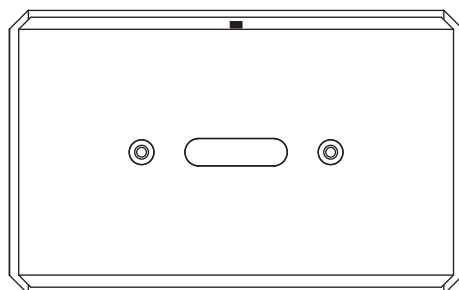
正面図



側面図



下面図



A部詳細図 [フード本体天板]

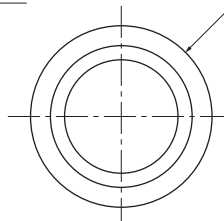
アース接続端子

※アース線は
工事側手配



PE

電源コード取出穴



取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・スイッチを入れて動作を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- ・製品が変形しないよう、ゆっくり養生を剥がしてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

※シンナー・みがき粉・アルカリ性洗剤等は使用しないでください。

表面塗装の剥がれ、変質、変色の恐れがあります。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

